

目 次

I. 総括研究報告

- 令和時代の自然災害と健康危機管理:WHOの研究手法ガイダンスを見据えた研究推進研究
原田 奈穂子 ----- 1

II. 分担研究報告

1. 日本国内で発生した自然災害に関する健康への影響:スコーピングレビュー ----- 8
原田 奈穂子・香田 将英・野村 周平・富尾 淳
(資料)スコーピングレビュー結果
(資料)世界災害救急医学会発表資料
2. 災害関連死に関する定義に関する日本と海外の比較分析 ----- 148
原田 奈穂子・小坂 健・香田 将英
3. 宮城県における災害関連死について ----- 153
小坂 健
4. 2024年能登半島地震における災害関連死の超過死亡数に基づく評価の試み -----155
野村 周平・香田 将英
3. 高齢者における災害関連死の疫学的定義の検討に向けた予備調査 ----- 157
大塚 理加
4. 生活困窮者における災害関連死の疫学的定義の検討に向けた予備調査 -----159
西岡 大輔
(資料)レビュー結果
5. 食と栄養の観点における災害関連死の疫学的定義の検討に向けた予備調査 ---173
坪山(笠岡) 宣代
(資料) Association between disaster knowledge level and the first
step of stockpiling food for a disaster, J Nutr Sci Vitaminol, 70,
422-429,2024
6. 制度を踏まえた災害関連死の疫学的定義の検討に向けた予備調査 ----- 183
坪井 基浩
(資料) Medical perspective on the systemic challenges involving
indirect disaster-related deaths in Japan, Sceitific reports, 15;5255
2025
(資料)アジア災害医学会発表資料
(資料)災害関連死ワークショップ:日本の災害関連死が抱える制度上の課題告知資料
7. 災害時の道路アクセス性における災害関連死の疫学的定義の検討 -----200
市川 学